

森林計画の地域懇談会を開催しました

広島北部森林管理署では、9月26日、高梁川上流森林計画区の地域管理経営計画策定に先立ち、地域住民等を対象にした地域懇談会を神石高原町油木協働支援センターにおいて行いました。地域懇談会当日は、公募による地元住民など総勢12名の参加がありました。高梁川上流森林計画区の地域管理経営計画は、5年ごとに策定されるもので、森林計画の策定に当たり、地域の方からの国有林に対するニーズや意見、要望を聴くもので、地域住民からの意見・要望等は、次期地域管理経営計画の参考にさせていただきます。広島北部森林管理署では、災害に強い森林づくり、良質で安定的な水の供給など、地域の皆様の生命・財産の保全や、貴重な森林の保護、計画的な木材生産等を目標として、引き続き国有林を管理していきます。



地域懇談会の様子



策定方針について説明



参加者からの意見



参加者からの意見

公益的機能維持増進協定箇所見学会を開催

広島北部森林管理署では、高梁川上流森林計画区にかかる地域懇談会の開催に合わせて、昨年度神石高原町内のある寄倉山国有林において実施した公益的機能維持増進協定の現地見学会を開催しました。公益的機能維持増進協定とは、国有林に介在する民有林が、小面積で孤立・分散していることなどから、間伐などの森林整備が十分に行われず、森林の持つ機能の発揮上支障を来している場合、国有林の公益的機能の維持・増進を図ることを目的として、民有林所有者との協定の基づき、民有林と国有林を一体的に整備するものです。見学会では、事業(間伐)実施前と実施後の違いについて、林内の明るさ(照度)や整備後に新たに出現した植生などに基づき、国有林と民有林とを一体的に整備したことにより、森林の持つ機能が発揮されていることを説明しました。



国有林見学会の様子



概要について説明する職員



説明を聞く参加者



参加者からの賛同

国有林材の安定的な供給に努めています

広島北部森林管理署では、今年度13,900m<sup>3</sup>の素材(丸太)生産を計画し、現在、4箇所の事業地で素材(丸太)の生産を行っています。生産を計画している13,900m<sup>3</sup>のうち、7,260m<sup>3</sup>を県内の木材市場などでの委託販売に、残りの6,640m<sup>3</sup>をシステム販売により計画的に販売・供給していくこととしています。

犬伏山国有林の事業地では、素材(丸太)生産事業の最盛期にですが、現在は、主に作業道の作設と並行して伐採を先行しています。生産された素材(丸太)は、主に、県内の市場へと運ばれ、定期的に販売(公売)されて、各地の製材工場などに運ばれ、そこで柱や板、合板などに加工され、消費者の手元に届けられます。



犬伏山国有林の生産現場



先行して伐採されたヒノキ



市場での売払い(イメージ)



木材搬出に必要な作業道



近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署  
 TEL:0824-62-2155/FAX:0824-62-2156  
 〒728-0012 広島県三次市十日市中2-5-19

